

第 97 号 2017. 2. 18

誰もが慣れ親しんだ地域の中で
安らいだ暮らしが続けられるために

知多の暮らしを結ぶ

—自分で選ぶ生き方の実現を願って—

社会福祉法人 愛光園

知多地域障害者生活支援センター らいふ

発行責任者： センター長 三宅 和人
〒470-2102
知多郡東浦町大字緒川字寿久茂 129
TEL 0562-34-6609 FAX 0562-34-6618
E-Mail life@aikouen.jp
URL <http://www.aikouen.jp>

知多北部(東海市・知多市・阿久比町・東浦町)の

相談支援体制がかわります

明けましておめでとうございます。

本年もよろしく願いいたします。

今年は例年より緊張した年を迎えています。知多北部の東海市、知多市、阿久比町、東浦町の 2 市 2 町は障がい児者の支援体制を平成 29 年度から見直すことになりました。

これまでの広域体制を発展的に解消し、相談支援は各市町で委託先が選定され、自立支援協議会（ネットワーク会議）も市町ごとに開催されることとなります。らいふの相談支援事業としては、これまでのように知多北部の 2 市 2 町の広域体制という枠組みで関わらせていただくことが終了したこととなります。

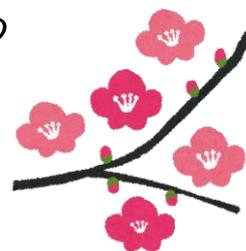
らいふはこれまで知的障がい、身体障がいのある人の支援を中心に行ってきました。法人愛光園の成り立ちの中で知的障がいや身体障がいのある人を対象として支援を続けてきたため、らいふでもその体制を引き継いできました。相談支援事業では制度が障がい種別に設計されていたため、まず主に知的障がい者・障がい児を対象とした障害児者地域療育等支援事業を受託し、次に身体障がい者を対象とした市町村障害者生活支援事業を受け、障がい種別に制度を活用し体制が整えられていきました。次に受託した障害者就業・生活支援センターは障がいという分類ではなく、

就労を切り口にした事業であるため、対象が初めて「障がい者」になりました。そのために知的障がい、身体障がいからこれまで経験のなかった精神障がいのある人への支援へと自然に広がっていきました。この広がり、現在ではサービスに障がいの種別がなくなった（特定できる場合があります）ことを思えば当然なことと捉えることができますが、当時はいろんな障がいを対象とすることに、不安を抱きながら出発したことを懐かしく思い出します。現在では、法人においても就職トレーニングセンター（就労移行支援事業所）を開設することで、障がいを区別することなく支援するようになりました。

さて、こうした状況を踏まえて、らいふの相談支援も知的障がい・身体障がいに加えて、精神障がいも対象にすることになりました。

また、広域の枠組みがなくなることによりサービスによって支援エリアが変わり、らいふの立ち位置が複雑にはなりますが、時代に沿った進化と思っています。詳しくは次号でお知らせできると思います。よろしく申し上げます。

三宅 和人



障害児等療育支援事業

あけまして、おめでとうございます。

昨年は、関係機関の皆様、保護者の皆様に大変お世話になりました。ありがとうございました。どうぞ本年も皆様からのご指導とご協力をいただき、障害児等療育支援事業を進めてまいります。

私が障害児等療育支援事業（以下本事業）を担当してもうすぐ2年になります。本事業は保育園、幼稚園、療育施設、障害者通所施設等に講師を派遣し、支援者向けの研修の企画、知多半島圏域保護者向けの研修の企画、保護者の方々とのグループワークが主な内容になります。研修を通して講師の方々からのお話をお伺いし、子どもの内面の理解、子どもの行動への対処等、子どもを捉える上で、勉強になることがたくさんありました。また、保護者の方々とのグループワークでは子育ての悩みを打ち明けることで、保護者同士がつながり、共感し、お互いをフォローし合う保護者の皆様の姿勢を見て、人の内にある気持ちを言葉にすることの大切さを改めて感じました。

本事業の内容は、発達が気になる子どもとその保護者、その子どもに関わる支援者へのフォローです。いわゆる子育て支援であると考えます。その中で特に大切にしたいことは福祉の制度と制度の狭間に居て、支援を受けることが難しい子どもやその保護者をフォローすることです。就学前から就学、学校から就労等のライフステージが変わる時期にある方々、または今まで福祉制度を利用することがなかった方々への支援です。

知多半島圏域では肢体不自由児へのフォローが現在、曖昧になっている地域があります。肢体不自由の子ども達やその保護者が制度とつながるためのバックアップを継続して行っていきたいと考えています。「バックアップ」と言葉で簡単に表現できますが、それを形にすることは難しいことです。知多半島圏域でそのような状況にあ

る子どもや保護者に対して何が必要なのか皆様にもご協力いただきながら、内容を企画していきたいと考えています。

今年度、本事業を進める中でよかったなど感じるがありました。

東浦町の保育園事例検討です。講師に作業療法士をお招きして、子どものクラスでの様子や対応に困る場面を観察し、参加者で意見を出し合い、子どもの捉えを深める内容です。今回の対象児が年長の子どもでした。子どもは来年度就学します。就学を考え、開催園園長との話の中で、小学校の先生に参加いただければとの話になりました。その結果、開催園園長のご尽力で小学校の先生が参加されることになり、子どもの就学に向けて、作業療法士のご意見とともに、学校生活を考えて、つきたい力、大切にしてほしいこと等、検討する機会になりました。小学校の先生は子どもの行動の観察や学校の視点でのご意見等、積極的に参加いただきました。その後も保育園を行き来してくださり、対象児だけではなく、その他の子どもの就学についてもご尽力いただいております。

研修会をきっかけとして、就学前の保育園に小学校の先生が来られ、保育園と小学校とのつながりが深まったかと思えます。

ひとつひとつは小さなことですが、この事例を他市町へも広げて、知多半島圏域で就学前の施設と学校とのつながりが、より深まる機会をつくっていければと思います。

未熟な私ですが、知多半島圏域の療育、保育の底上げのため、力を尽くしていきたいと思えます。どうぞ今年もよろしくお願い致します。

(植田)



障がい者就業・生活支援センターワーク

『講師派遣の取り組み』

ワークは、関係機関等から講演の依頼を受け、講師を派遣させていただく機会があります。

平成 28 年度、ご協力させていただいた講演は下記の通りです（1 月中旬まで）。

1	派遣先	障害者就業・生活支援センター就業支援担当者研修	対象	全国の障害者就業・生活支援センターの就業支援担当者
	テーマ	関係機関との連携と地域ネットワークの活用		
2	派遣先	ジョブコーチ支援事業推進協議会	対象	愛知県内のジョブコーチ
	テーマ	地域における定着支援の現状とジョブコーチ支援との連携について		
3	派遣先	岡崎聾学校	対象	岡崎聾学校教員
	テーマ	聴覚障がい者の就労の現状と課題～ジョブコーチ支援から見えること～		
4	派遣先	障害児等療育支援事業	対象	大府市発達支援センターおひさま／おやじの会（在園・卒園児の父親）
	テーマ	子ども達の将来への道すじ～就労支援の現場から～		
5	派遣先	障害児等療育支援事業	対象	知多圏域の保護者
	テーマ	働くためにつけたい力～社会で生きる力を育む～		
6	派遣先	障害児等療育支援事業	対象	障がいのある中高生
	テーマ	しごと研究会①「しごとって何？～夏祭り編～」しごと研究会②「働くためにつけたい力～バザー編～」		
7	派遣先	半田市ジョブライフサポーター養成講座	対象	半田市内の就労支援者・市民
	テーマ	知多圏域の障がい者就労支援状況		
8	派遣先	半田特別支援学校	対象	高等部3年生保護者
	テーマ	家庭ができる働くことへの準備		
9	派遣先	西三河障害者雇用促進セミナー	対象	企業・就労支援者
	テーマ	企業のサポートをさせていただきます- 障害者就業・生活支援センター		
10	派遣先	放課後等デイサービスそよ風	対象	利用者の保護者
	テーマ	就労支援の現場から		
11	派遣先	愛知県障害者就労支援者養成事業	対象	愛知県内の就労支援者
	テーマ	障がい者に適した業務の切り出し		
12	派遣先	障がい者雇用フォーラム in 半田	対象	企業・就労支援者
	テーマ	これからの障がい者雇用（シンポジウムのコーディネーター）		
13	派遣先	豊橋聾学校	対象	豊橋聾学校保護者（中高）
	テーマ	聴覚障がい者の就労の現状と課題～ジョブコーチ支援から見えること～		
14	派遣先	豊橋聾学校	対象	豊橋聾学校生徒（中高）
	テーマ	社会人になる準備		
15	派遣先	共和病院デイケア フリージア	対象	デイケア利用者（就労プログラム選択者）
	テーマ	障害者就業・生活支援センターの紹介		
16	派遣先	ふれあい交流会（美浜町）	対象	美浜町内の特別支援学級保護者
	テーマ	ジョブコーチから子育て世代に伝えたいこと～うちの子から社会の人に～		
17	派遣先	美浜町特別支援教育研究部会	対象	美浜町教職員
	テーマ	就労支援から見えること～うちの子から社会の人に～		
18	派遣先	愛知県教育委員会	対象	幼稚園・小学校管理職
	テーマ	障害者の就労の現状と課題～ジョブコーチ支援から見えること		

就労支援機関や企業だけではなく、教育機関等の様々なライフステージを支える方々に向けて、そして、障がいのあるご本人・ご家族に向けて、これからもワークの支援の中から見えること・感じることを発信していきたいと思えます。

(安井)



東海市・知多市・阿久比町・東浦町

障がい者総合支援センター

明けましておめでとうございます。

障がい者総合支援センターが10年目という節目に、4月にらいふ直接支援事業から異動してきました。相談員としてスタートを切って数か月は、分からないことが多く、先輩の相談員についていくのに精一杯の状態でした。それが、気が付けば早いもので8か月が過ぎていました。この8か月相談員として働いてみて感じたことを少し書いていきたいと思えます。

相談員のスタートを切ってまず感じたこと、それは「自分は何もできない」ということです。

相談員の仕事はまず、相談に来られた方のお話をお聴きするところから始まります。相談内容は、「人間関係について」や「就労について」、「入所を考えている」、「親が高齢になったから支援が難しくなってきた」など十人十色です。相談員が話を聴いてすぐに解決できる課題はほとんどありません。現場出身の私としては、お話しお聴きしながら「今すぐ自分が支援します！」と何度も思ったことがあります。

相談をお聴きした後は、これからどう支援していけば良いかを検討していきますが、相談員ひとりでは限られています。そのために、先輩の相談員との連携はもちろんのこと、行政の方や病院のワーカー、施設の職員などなど多くの方とつながり、連携を取っていく必要があります。そうすると、課題に対していろんな方法が見つかり、少しずつ解決の方向に向かっていきます。

私が支援している方で、現在入院中でこれから退院して自宅に戻られる方がいらっしゃいます。その方が、自宅で生活していくためには、ヘルパーや訪問看護、往診、訪問入浴など様々な医療や福祉のサービスを利用していく必要があります。その調整にあたり、ご本人とご家族のご希望をお聴きしたうえで、病院のワーカーと連絡を取り、本人の状況や退院の日程、どういったサービスが必要か等の確認をし、往診等医療で必要なことについてはお願いしました。また、ヘルパーの事業所等にも連絡をして、ご本人の情報をお伝えし、退院後の支援をお願いさせていただきました。一度は難しいと言われたのですが、何とか支援できないかと検討してくださりお受けしてくださいました。皆様のご協力のおかげで、退院に向けての準備を整えることが出来ました。

相談員一人では、「何もできない」ことが多いです。が、それを出発点として、多くの人とつながり、連携を取ることで、相談に来られた方々の悩みを一緒に悩み、考えていくことができます。それが、相談員の仕事の魅力の一つだと感じながら今仕事をしています。

異動してきて1年が経とうとしていますが、相談員としてまだまだ未熟者です。これからたくさんの経験や勉強を積んでいくとともに多くの方たちとの出会いを大切に、少しでも早く「信じて頼りにされる相談員」になれるように努めてまいりたいと思えますので、ご指導のほどお願いいたします。

(行武)

らいふ 直接支援

あけましておめでとうございます。

昨年は大変お世話になりました。今年もよろしくお願い致します。

今年のお正月は暖かいように感じられましたが、最近急に冬らしい寒さがやってきたように思います。暖冬と言われておりますが、やはり冬は寒いものですね。皆様、体調にはお気をつけください。

さて、直接支援ではホームヘルプを利用していた方にお出かけ先の参考にしていただければと「おでかけリスト」をお渡ししております。しかし、「リストの活用の仕方が分からない」「限られた時間の中でどこに行けるのか分からない」などと言った貴重なご意見をいただきました。

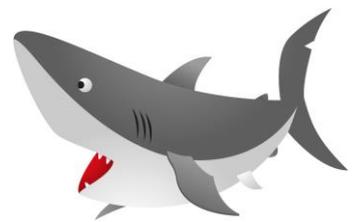
そこで今回は「おでかけリスト」の中から半日で楽しめる、おすすめのお出かけ先をご紹介します。少しでも参考になれば幸いです。

1つ目は、モリコロパークです。ここは、名古屋から地下鉄東山線、リニモと電車を乗り継ぎ、下車後すぐに入り口があるので行きやすい場所だと思います。また、電車が好きな方は普段あまり乗らないリニモに乗ることが出来るので楽しいのではないのでしょうか？広々とした場所で天気の良い日の散歩には最適です。また、室内にはスケート場やプールがあったり、広い敷地を利用しイベントが行われたりすることもあるので1年を通して楽しめる場所だと思います。私が行ったときには雪祭りが行われており、雪で出来た大きいすべり台や雪で遊べるスペースもあり寒い冬でも楽しむことが出来ました。



2つ目は、トランポリンハウス vivace（滝ノ水店）です。ここは名前の通りトランポリンを行うことができる施設です。料金は30分1600円〜で、人数が増えても料金は変わりません。トランポリン1面を借りることができるので周りを気にしないで遊ぶことが出来ます。ただアクセス面が少し不便となっており、名鉄鳴海駅からタクシーで10分か、名古屋市バス鴻仏目駅から徒歩10分の場所にあります。もし行き先として選ばれる場合には、事前に行き方を相談したほうが安心かもしれません。

3つ目は、竹島水族館です。ここは、蒲郡にある水族館なので少し遠いですが、水族館自体は小規模で施設内は1時間もあれば十分に満喫できる場所です。他の水族館では見ることができない珍しい魚・深海魚がたくさんいます。私が行ったときには深海に住む幻のサメ（名前は忘れてしまいましたが・・・）が期間限定でいました！また、生き物たちと触れ合えるスペースもあり、タカアシガニやダイオウグソクムシなどに触ることが出来ます。1日に数回アシカショーも行われており、こちらも人気となっております。



竹島水族館の近くには生命の海科学館という場所もあります。化石などが展示してあるミュージアムです。水族館と一緒に行ってみたいはいかがでしょうか？

以上がおすすめのお出かけ先でした。しかし、まだまだ楽しい場所はたくさんあります！「おでかけリスト」の中でもそうでなくても、「ここ行けるのかな〜」「どうゆうところだろ〜」など気になる場所がありましたら、気軽にスタッフに声をかけてくださると嬉しいです。皆様と一緒にのお出かけ先を考えていきたいです。（廣瀬）



◇運動クラブ ふいっと◇

2017年がスタートし、気付けばあっとゆうまに1月も過ぎ去ってしまいました。

今年度のふいっとの活動も残り2回となりました。本年もよろしくお願いいたします。

運動クラブふいっとは、毎月第1土曜日に知多市民体育館で活動しております。今年度に入り体育館が取れず、10月はしあわせ村会議室、11月は知多市子ども未来館、12月は知多市青少年会館と会場を変えての活動となりました。



しあわせ村は過去の活動で使ったこともありますし、移動支援等で行ったことがある方も多く、比較的スムーズな活動の運びとなりました。一方で、子ども未来館や知多市青少年会館での活動時はいつものメンバーさんとは異なる様子が見受けられました。

いつもは、受付を済ませてから活動が始まるまでの時間にボールで遊ぶ方や走り回る方、座ってのんびり過ごされる方等様々です。11月、12月の活動と会場がいつもと違ったことにより受付を済ました後のメンバーさんは総立ちで、ボール遊びを勧めてみても拒否、座ることを勧めてみても拒否。やはり、初めての場所が苦手なんだなということを実感しました。普段どおりの始まりの挨拶をしても、何が始まるのか不安そうなメンバーさんでしたので気分転換に散歩に出かけました。外の空気に触れ表情が和らぎましたが会場へ戻るとまた不安そうな様子でした。毎月ふいっとの活動で行なってる大人気のパラバルーンを準備し始めると、ようやくメンバーさんも笑顔が増え、「あ〜ふいっとね!」というような印象で一斉にバルーンの周りに集まりました。場所が違ってもいつもと同じ活動なら安心、といったメンバーさんの様子が見られたふいっとの活動となりました。(矢野)



【ご案内】

毎年恒例の遠足を3月4日(土)に行ないます。行き先はあいち健康プラザを予定しております。周りの方でボランティアに興味のある方がいましたらぜひ、お声かけお願いいたします。

☆お知らせ☆

ボランティアさんを随時募集しています。知的障がいのある仲間たちと一緒に体を動かして楽しみませんか? リズム体操や、パラバルーンなどみんなで楽しめるプログラムになっています。

また年に1~2回お出かけのプログラムを予定します。

連絡先 TEL : 0562 - 34 - 6293

E-mail : life-neco@aikouen.jp

(ふいっと担当 : 矢野、袴田)

職員募集

共に働く仲間を求めています!

詳しくはホームページをご確認ください

<http://www.aikouen.jp/>